看護かごしま

Nursing Kagoshima

http://k-kango.jp

2020.Autumn Vol.181

霧島の雲海（10 月朝 霧島から桜島を望む）

◆鹿児島県看護協会業務執行理事近況報告 …… 2
◆令和３年度公益社団法人鹿児島県看護協会役員・推薦委員並びに令和４年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の公募… 3
◆令和２年度日本看護協会長表彰
◆特集新型コロナウイルス感染症第２弾 …… 4
◆特定分野における実習指導者講習会研修を終えて …… 7
◆パワフル age 委員会だより
◆「特定行為研修終了看護師交流会」を取材して
◆定年退職を控えた看護職のセカンドキャリアに関する実態調査結果 … 8
◆地区だより …… 10
◆2020 年度入会受付及び 2021 年度継続入会のご案内 …… 12
◆ナースセンターだより …… 13
◆理事会報告 …… 16

令和２年度鹿児島県看護協会会員数　保健師 436 人／助産師 391 人／看護師 10,918 人／准看護師 612 人／合計 12,357 人　令和２年 10 月 9 日現在

公益社団法人鹿児島県看護協会　業務執行理事近況報告

公益社団法人
鹿児島県看護協会会長　田　畑　千穂子

2020年はナイチンゲール生誕200年のこの年に、私達は世界の看護職の仲間とともに新型コロナウイルス感染との戦いの真只中にあります。日本看護協会は、看護職が国民の「新しい生活様式」を支え、有事を見据えた安定的な医療提供体制の確保、感染拡大防止のカギは、看護職の専門性、看護の力で健康な社会を、と４つの項目を提言しました。本会も令和２年度において４つの重点事業とともに、新型コロナウイルス感染症対策を喫緊の課題として協会活動を展開しております。

本会は、宿泊療養施設へ潜在看護師の派遣とともに、クラスター発生施設等（離島を含む）には施設で就業中の看護師・看護管理者を派遣いたしました。派遣元の医療機関の病院管理者の多大なるご理解とご協力により実現できたことと深く感謝申し上げます。

８月12日に本会は県看護連盟、県教育協議会とともに、県知事への要望書を提出しました（写真）、また、８月18日の新型コロナウイルス感染症対策に係る知事と医療関係団体との意見交換では、①宿泊療養施設・クラスター発生への派遣看護師確保に向けた長期的な体制を見据えた対応、②危険手当・慰労金等への予算化、③看護師養成校等の補完演習等の支援看護師派遣の予算化、④中長期的には感染管理認定看護師配置の推進をあげました。

県知事への要望書提出（2020.8.12）

今後も、感染予防対策が図られ、クラスターが発生しないことを願っておりますが、医療機関等でクラスターが発生した場合の支援体制づくりを推進して参ります。そして、台風の季節を迎え、事業継続計画など更なる危機管理が求められます。「鹿児島の医療を守る」と、本会は会員の皆様の施設や関係団体とともに協働して参りたいと考えます。

公益社団法人
鹿児島県看護協会専務理事　今　村　　恵

令和２年度上半期の県看護協会としての取組みは、新型コロナウイルス感染症に関し、日本看護協会からの業務委託事業として「地域の医療提供体制確保のための看護職員派遣調整事業」を展開しています。これに関しては４～６頁に特集を組んでいますので詳細は割愛します。

４職能委員会と災害看護検討委員会の合同会議を７月、災害支援ナース養成研修のDVD研修を９月に計画していましたが、どちらも前日や数日前に、豪雨や台風１０号に見舞われ開催できるか心配しました。どちらも大きな影響はなく無事に開催することが出来、安堵するとともに、豪雨、台風等に備えた取組みの強化を再認識しました。

また、今年度から３年間の予定で「訪問看護供給体制確保推進事業」を鹿児島県から受託しています。昨年度までの取組を継続しつつ、より在宅医療における重要な役割を担う訪問看護師の需要増加に対応するため一層の強化を目指し、看護師養成校新卒者や訪問看護未経験者等の訪問看護師の積極的な人材確保、育成を行うとともに、医療機関による訪問看護を含めた安定的かつ質の高い訪問看護供給体制の推進を図ることとしています。

下半期も、感染防止に努めつつ、新型コロナウイルス感染症の発生状況を見ながら、事業展開していきたいと思いますので、皆様の御意見・御協力をよろしくお願いします。

公益社団法人
鹿児島県看護協会常任理事　内　司　啓　子

皆様には県看護協会を活用下さり、また多大な運営への協力に感謝申し上げます。

昨年の今頃は、コロナ禍によって様変わりしたこの生活を想像だにしていませんでした。

協会の研修につきましても、５～６月はほとんど開催出来ずにいましたが、７月から感染対策を講じ、講師にもご協力頂き縮小開催を続けています。オンライン研修は、一部導入していますが、今後は本格的に目的に応じて体制を整えて提供できるよう取り組んで参ります。季節の花々は確実に時の移り変わりを知らせてくれます。私たちも今できることを粛々と行いながら、コロナ対策に光が差し込むことを信じて看護職みんなで力を合わせて明日に向かって進みましょう。

令和３年度公益社団法人鹿児島県看護協会役員・推薦委員並びに令和４年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員の公募について

令和３年度鹿児島県看護協会役員・推薦委員並びに令和４年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員は、令和３年５月の通常総会において選出されます。次年度（令和３年度）に改選される役員・委員並びに令和４年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員について公募を行いますので、立候補される方は次の要領で届け出てください。

○公募する役員・推薦委員会委員・代議員及び予備代議員は表のとおりです。
○正会員５名以上の推薦が必要です。（定款施行細則第 14 条）
○立候補届出書に必要事項を記入し、提出してください。

役員（役職）名	公募数
保健師職能理事	１名
看護師職能Ⅰ理事	１名
看護師職能Ⅱ理事	１名
地区理事（川薩）	１名
地区理事（姶良伊佐）	１名
地区理事（大島）	１名
監事	１名

委員名	公募数
推薦委員	７名

令和４年度日本看護協会通常総会

代議員・予備代議員	公募数	摘　要
代議員	７名	各地区から１名
予備代議員	７名	

※日本看護協会代議員は、会員数により人数が決められます。今後、日本看護協会から依頼がありますが、代議員数に変更があった場合は、ホームページや令和３年１月発行予定の「看護かごしま」に掲載します。

届出用紙・届出先・届出期間

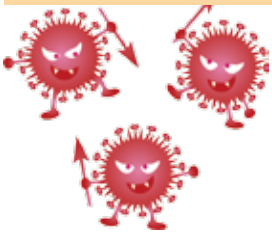
・届出用紙は、鹿児島県看護協会ホームページからダウンロードして下さい。
・届 出 先：〒890-0064　鹿児島市鴨池新町 21-5
公益社団法人鹿児島県看護協会選挙管理委員長宛
・届出期間：令和２年 11 月１日～令和３年２月 20 日
・照会先等：電話　099-256-8081　ホームページ：http://k-kango.jp

※立候補者、推薦委員会からの推薦を受けた者いずれも総会２週間前には会員に公表します。

令和２年度　日本看護協会長表彰

令和２年度日本看護協会通常総会で日本看護協会長表彰を、鹿児島県より内司啓子氏、山口圭子氏の２名が授与されました。お二人の看護業務に対する功績に敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。本会事業の発展の為、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

日本看護協会長表彰者
山口圭子氏　内司啓子氏



特集 新型コロナ 第２弾

令和２年９月 30 日現在

前号（看護かごしま VOL. １８０号）では、６月３０日時点での取組をお伝えしましたが、今回、その後の経過をご報告します。

鹿児島県看護協会における新型コロナウイルス感染症に関する対応

新型コロナ対策コーディネーターを配置

日本看護協会事業「地域の医療提供体制確保のための看護職員の派遣調整事業」を受託し本事業の全体調整を行うコーディネーターを７月１２日から担っていただいています。

西原　洋子さん

各機関と連携し看護職の派遣調整、感染対策の強化及び看護職の就業継続につながるよう努めたいと思います。

県内において、７ 月に入り、これまで５つのクラスターが発生しました。クラスターが発生したことにより、宿泊療養施設やクラスター発生場所に看護師を派遣しました。

宿泊療養施設への看護師派遣

鹿児島県は最初のクラスター発生を受け、鹿児島市内に７月５日に宿泊療養施設を開設しました。
立上げ時は JMAT で構成されたメンバーでスタート、県看護協会は７月１２日から派遣しました。
〔鹿児島市内宿泊療養施設〕
２泊３日を１クールとして、実人員 12 名、延べ 54 回従事（7 月 15 回、8 月 15 回、9 月 24 回）しています。10 月も継続派遣中です。
〔大島地区宿泊療養施設〕
与論町でのクラスターを受け、７ 月３１日開設、８月２日から派遣 ８日閉所２４時間シフトで、実人員３名、延べ６回従事しています。

レッドゾーンからグリーンゾーンへ機器を渡している場面

看護師が電話で健康観察の聞き取りを行なっている場面

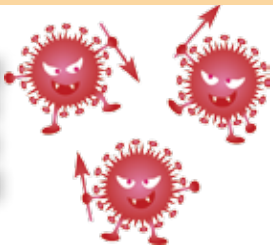
療養される方が安心してすごせるよう、看護師が 24 時間体制で滞在中の健康管理と環境整備に努めています。

秋野睦美さん

行政における相談業務 看護師の紹介

・鹿児島県
　宿泊療養施設に入所する方の調整や相談業務に対応、７月～８月にかけ実人員２名、延べ３１日従事しました。
・鹿児島市
　帰国者・接触者相談センターでの相談業務に対応、７月～８月にかけ実人員２名、延べ１８日従事しました。

ウイルス感染症



田畑会長、クラスター医療機関の聞き取り及び関連の検討会に参加

・現場での検討　・県医師会での協議

クラスター関連への派遣

派遣先	派遣者			活動内容	派遣期間
	職位等	所属	氏名		
与論町	看護管理者 訪問看護 ST 所長	笹貫訪問看護ステーション 愛の街	末永 真由美	地域マネージメント ＋看護応援活動	7月28日～8月10日
指宿市内病院	看護師	パールランド病院	冨山 宣幸	病棟での 看護応援活動	8月17日～8月31日
		吉田記念病院	上荒磯 礼乃		8月17日～8月29日
			大野 美月		8月17日～8月29日
	看護管理者 副看護部長	米盛病院	五味 靖	看護体制の マネージメント	8月18日～8月20日
	看護管理者 看護部長	パールランド病院	吉松 昌代		8月24日～8月26日
	精神科認定看護師 副看護部長	谷山病院	今村 健次	職員・患者への メンタル支援	8月26日～8月28日

与論町長から看護師派遣に関するお礼（一部抜粋）

本町における新型コロナウイルス感染症発生事案においては、中核医療機関でクラスターが発生し、外来診療が中止され島内の他の医療機関での負担が増加し、介護福祉施設等地域全体の看護体制が破綻する恐れが生じていました。そうした中で、看護協会におかれましては県との調整のもと、素早い看護師派遣という対応に心から感謝します。

派遣された末永さんには、長期滞在のもと、地元職員以上に町内の様々な課題やニーズを掘り起こし、あらゆる関係先との調整役を務めていただきました。

様々な悩ましい問題に対しても、積極的に自ら関り、解決に向け活発に動かれる末永さんの活躍を見るにつけ、派遣元に頭が下がるとともに、正にナイチンゲールの様な方だと感心しました。

かねてより本町の医療体制は脆弱であり、非常に不安を感じていましたが、今回、県の調整本部をはじめ徳之島保健所との密接な連携のもと、素早い判断と行動力で、医療崩壊を免れたことは、大変有難いことであります。

皆様方に衷心より感謝します。

与論町長　山　元宗

患者さんから看護職へのメッセージ（県立大島病院）

県立大島病院の皆様

通常の業務に加え、コロナという感染病にかかってしまった私たちを受け入れてくださって、ありがとうございました。毎日、防護服に着替え、掃除、消毒、患者さんの体調管理まで大変ご苦労をおかけしました。

みなさまの一つ一つのお気遣いがとても嬉しかったです。ほんとうにお世話になりました。いつかコロナが収まったら与論に遊びに来てください。

患者さんが、そっとオーバーテーブルに残してくださったメッセージを、スタッフが感染病棟内側から掲示してくれました。
そのあたたかい言葉に熱いものが、こみ上げました。
～病棟師長～

新型コロナ感染症クラスター発生における派遣体験

医療法人 猪鹿倉会 パールランド病院
吉松　昌代

今回、派遣依頼を看護協会長より頂いた際は、正直びっくりしました。現場の状況について無知な状況でしたし、自分に与えられた役割を全うできるか不安でした。しかし既に派遣されていた看護管理者の方から情報を得る時間があり、自分なりに情報を得て、派遣当日を迎えることができたことは幸運でした。

また当日は、看護協会長と共に現場入りすることで安心して行くことができました。現場における主な活動としては看護管理者への支援という役割を頂いていましたので院内の情報収集を行いながら、必要と考える（不足している）書類の作成に入りました。書類作成にあたっては、感染管理認定看護師の方と情報交換を密に行いながら、暫定的ではありますが今の現場に即したものになるように作成しました。

病院全職員へ今後の看護体制の説明

看護管理者の方と話し合う時間がなかなか取れなくて、支えることができなかった点や、その他、まだまだ不足していた点などはあったとは思いますが、受け入れ側の対応について実際に見て学ぶべきことがあり、大変良い経験ができたことに感謝致します。

今回の貴重な体験を、今後自施設で活かしていきたいと思います。

医療法人 猪鹿倉会 パールランド病院
冨山 宣幸

コロナの渦中にある医療現場の実状と課題について学ぶことができ我々にとって身近に感じる事であると感じました。

医療現場で働く医療従事者の一人として良い機会の場となりました。

医療法人　碩済会　吉田記念病院

松原　幸江：２人のおかれている環境を思うととても不安でしたが、今は「ありがとう」という気持ちでいっぱいです。

大野　美月：今回、貴重な経験をして多くのことを学び・考える機会となりました。今後も看護師として研鑽していきたいです。

上荒磯礼乃：ＣＯＶＩＤ－19 の前線で働く医療者を見て、感染対策への意識が高まりました。今後に備え現場で活かしていきたいです。

左から　応援ナースを送り出した看護部長　松原幸江さん
応援ナースとして派遣された
大野美月さん、上荒磯礼乃さん

令和２年度　特定分野実習指導者講習会を終えて

鹿児島県看護協会訪問看護ステーションかごしま
池谷　京子

私は訪問看護ステーションに勤務し、複数の学校から実習を受け入れ、学校別に打ち合わせもしている。しかし、日々の業務の時間内で、臨地指導者のできる事は限られているから十分に指導できないのはしょうがないと、今までは勝手に自分に言い訳をしていた。

今回の講習に参加する事で、各学校の実習要項に沿った実習指導案を作成する必要性を学んだ。在宅では、療養者の生活そのままを支えている為、学生に教えたいと思う事が多すぎる。指導目標・指導案を作成する事で、学生に学んでほしい事が明確化、整理される事を学んだ。今までは指導するスタッフによって、実施内容の相違を確認することも大変だったが、目標と指導案を作成する事で、統一した指導ができる事を学んだ。

また、学生はまだ成長過程にあるため、様々な看護場面での振り返りをする力が弱い。細かく発問していき、掘り下げていく事で、学生の理解につながるように、努力していきたい。

講義で学んだ事、グループワークで他のステーションや学校教諭との情報や意見交換ができた事を活かして、今後の学生指導にあたっていく。

今年はコロナの影響で、学生実習ができていない事が多い状況である。これからも、感染状況は予測できないため、新しい実習の在り方も考えていきたい。

パワフル age 委員会だより

パワフルなシニア人生目指して！

パワフル age 委員会
竹脇　惠子

私は在職中、山桜みたいな人になれたらいいなと思っていた。
かねては全く目につかない山桜だが、時期が来ると「あっ　あそこに桜が・・・」とその存在が誰にもわかる。だが、山桜のような存在には遂になれなかったが、時代の流れの中で看護職として多くの学びがあり、色々な経験をさせてもらった。

この経験が御縁となって、退職後も１０年間、看護職養成所や看護協会等で働く機会を得た。お声をかけていただくたびに、一応お断りしながらも、「私に出来ることであれば・・・」と引き受けてきたが、その度に新たな方々との出会いがあり、社会生活にも広がりがあった。看護協会のパワフル age 委員会が募集している有償ボランティアも、県内で行われる色々なイベントに救護などで要請があるが、自分が出来ることであれば、これからも引き受けていこうと思っている。

９月も中旬になり、畑には植えたいものが沢山あるので、野菜作りにも精出し、ゴルフのスコアアップも目指し、着なくなった和服で小物作りもしたいと、やりたいことが沢山あり、まさにパワフルな日々を送ることが出来るといいなと思っている昨今である。

「特定行為研修終了看護師交流会」を取材して

令和２年８月29日（土）、鹿児島県看護研修会館において「特定行為研修終了看護師交流会」が開催されました。特定行為研修制度の必要性の理解や研修修了者の活動報告、今後の課題を見出し、今後のネットワークづくりを目的とし、３密を避けながら３６名の参加で交流会が行われました。その中で特定看護師が周囲の理解が、まだまだ不十分であり周知活動を進めていく事が課題であると感じた会でした。

意見交換会では、今後県内での３番目の研修施設として今村総合病院が開設されることが伝えられました。医師を含めた医療従事者への周知をどのように進めていったか等、活発な意見交換が行われていました。

鹿児島大学病院　平郡　和弥

看護師特定行為研修修了者が、他施設でどのような活動を行っているのかを知ることができ、とてもよい機会でした。一方で従事者も含めてまだ広く周知されていないという現状もわかりました。今後は看護師特定行為が広く周知され、より活動の幅を広げていけるように、また研修修了者がもっと増えるように自身の活動に励みたいです。

大隅鹿屋病院　出水澤　愛

実践するための準備や苦労、周りの協力を得ながら行っていることを聞くことが出来、貴重な時間でした。今後もこの交流会で活動報告を継続してほしいと思いました。実践を積みながら看護師としても質の高い看護を提供出来る資格に、私も協力を得ながら早く実践へとつなげていきたいと強く感じました。

定年退職を控えた看護職のセカンドキャリアに関する事態調査結果（第２報）

職場環境改善委員会

前号に引き続き、看護管理者と看護職の定年退職後の働き方の希望等に関する調査結果を報告します。

【看護管理者の結果】

1，再雇用に関する希望

1）定年退職後に再雇用したい職員

自施設定年退職者の再雇用については、「はい」137 名（91.3%）、「いいえ」6 名（4.0%）、他施設の定年退職者については、「はい」71 名（47.3%）、「いいえ」49 名（32.7%）、であった（図 1）。

2）雇用したい分野（1 位 3 点、2 位 2 点、3 位を 1 点で点数化）

最も多かったのは「日常看護業務」276 点、次いで「教育担当業務」125 点、「専門領域の業務」108 点であった（図 2）。

3）雇用したい雇用形態

複数回答で「常勤」80 名、「非常勤」70 名、「こだわらない」52 名、「短時間」42 名、「短期間」9 名であった（表 1）。

表１　雇用したい雇用形態（複数回答）　（n＝150）

雇用形態	常勤	非常勤	短期間	短時間	こだわらない
人数(名)	80	70	9	42	52

4）雇用したい勤務形態

複数回答で「日勤のみ」119 名、「交代制勤務」71 名、「夜勤専従」16 名、「その他」13 名であった（表 2）。

表２　雇用したい勤務形態（複数回答）　（n＝150）

勤務形態	日勤のみ	夜勤専従	交代制勤務	その他
人数(名)	119	16	71	13

5）給与について

最も多かったのは、月給では「25～15 万円」92 名（61.3%）、日給では「約 9,000 円」66 名（44.0%）、時給では「1,300 円以下」60 名（40.0%）、年棒では「500～300 万円」63 名（42.0%）であった（図 3-1～4）。

6）雇用時に重視する点（1 位 3 点、2 位 2 点、3 位を 1 点で点数化）

「健康である」284 点で最も多く、次いで「協調性がある」129 点、「責任感がある」114 点、「即戦力」113 点であった（図 4）。

2，再雇用者に対する配慮

配慮については「無」78 名（52.0%）、「有」51 名（34.0%）、「検討中」15（10.0%であった（図 5）。また、再雇用者への配慮に関する自由意見には 61 名の意見が寄せられ「勤務形態への配慮」「業務内容への配慮」「給与の配慮」「健康面への配慮」「本人の希望を確認」にカテゴリー化された。

3，定年退職予定者を対象とした就職面接会への参加希望

就職面接会への参加については、「検討したい」72 名（48.0%）、「参加する」39 名（26.0%）、「参加しない」33 名（22.0%）、無回答 6 名（4.0%）であった（図 6）。

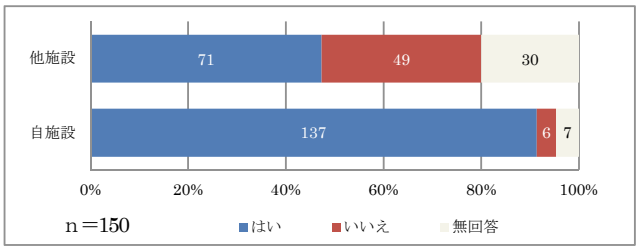


図１　定年退職後に再雇用したい職員

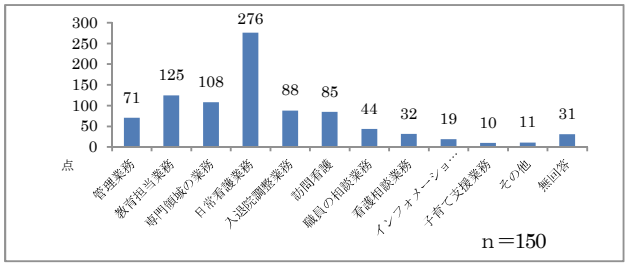


図２　雇用したい分野

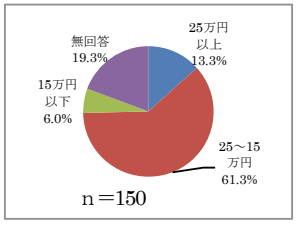


図 3-1 給与（月給の場合）

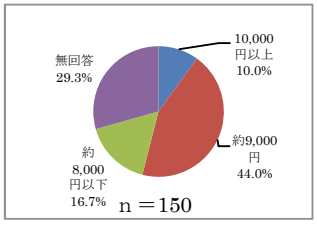


図 3-2　給与（日給の場合）

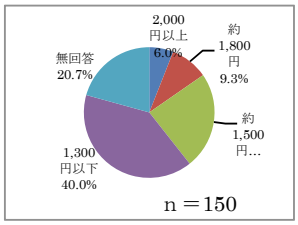


図 3-3　給与（時給の場合）

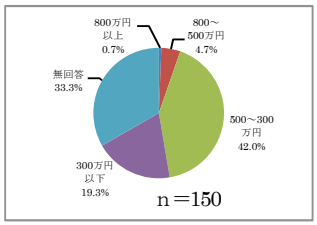


図 3-4　給与（年棒の場合）

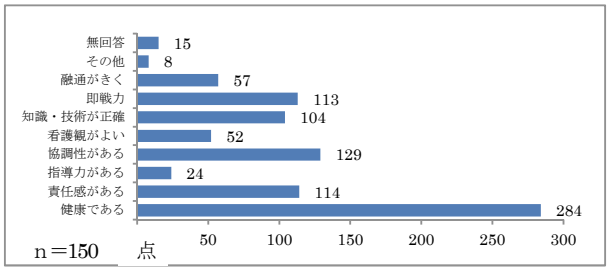


図４　採用に際して重視する点

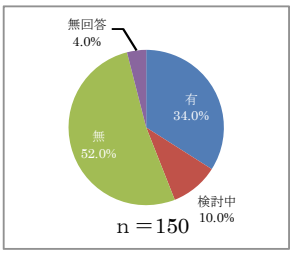


図５　再雇用者に対する配慮

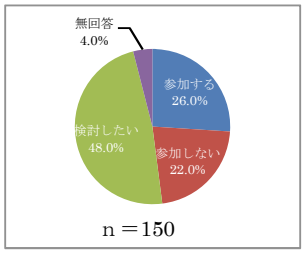


図６　定年退職者を対象とした就職面接会への参加

【定年退職を控えた看護職の結果】

1，定年退職後の再就業の時期について

「退職後すぐに」77 名（33.9%）、「少し休んでから」38 名（16.7%）、「すでに決まっている」11 名（4.8%）「考慮中」73 名（32.1%）、「再就業はしない」19 名（8.4%）、「看護職以外での就業を希望」5 名（2.2%）であった。（図 7）。

2，再就業に関する希望（集計対象 203 名）

（再就業はしない 19 名、看護職以外の就業を希望 5 名を除く）

1）再就業先についての希望

「自施設」154 名（75.9%）、「他施設」40 名（19.7%）で、自施設希望の中では「現在の部署」96 名（47.3%）が最も多かった（図 8）。

2）重視する条件（1 位 3 点、2 位 2 点、3 位 1 点で点数化）

最も多かったのは「勤務時間」936 点で「業務内容」908 点、「給与」825 点、「休暇」698 点であった（図 9）。

3）希望する業務内容（1 位 3 点、2 位 2 点、3 位 1 点で点数化）

最も多かったのは「日常看護ケア業務」336 点で、「専門領域の業務」198 点、「訪問看護」93 点、「看護相談業務」88 点、「入退院調整業務」81 点、「管理業務」69 点であった（図 10）。

4）希望する雇用形態

「常勤」83 名（40.9%）、「非常勤」67 名（33.0%）、「短時間」28 名（13.8%）、「こだわらない」18 名（8.9%）、「短期間」3 名（1.5%）、無回答 4 名（2.0%）であった（図 11）。

5）希望する勤務形態

「日勤のみ」150 名（73.9%）、「こだわらない」27 名（13.3%）、「交代制」19 名（9.4%）であった（図 12）。

6）給与について

月給では「25～15 万円」108 名（53.2%）、日給では「1 万円以上」59 名（29.1%）、時給では「約 1,500 円」49 名（24.1%）年棒では「500～300 万円」68 名（33.5%）が多かった（図 13-1～4）。

3，定年退職を控えた看護職を対象とした研修

希望する研修内容（1 位 3 点、2 位 2 点、3 位 1 点で点数化）「再雇用制度の現状」297 点、「年金の話」224 点、「セカンドキャリアで活躍する先輩の話」183 点、「医療・看護の展望」163 点、「キャリアと生きがい」156 点であった（図 14）。

4，定年退職を控えた看護職対象の就職面接会への参加

面接会への参加を「希望する」119 名（58.6%）、「希望しない」77 名（37.9%）であった（図 15）。

【まとめ】

1. 定年退職を控えた看護職の約 6 割が再就業を希望している。
2. 看護管理者の約 9 割は自施設の退職者の再雇用を考えているが、他施設退職者は 5 割以下であった。
3. 再雇用後の給与希望額は看護管理者より看護職が高い傾向にあった。交代制勤務については看護管理者の約5割が希望しているが、看護職の交代制勤務希望は 1 割以下であった。
4. 業務内容は、看護管理者は「日常看護業務」「後輩育成の教育担当」を、看護職は「日常ケア業務」「専門領域での業務」を希望している。
5. 再雇用したい人材としては健康と人間性を重視している。
6. 看護職の約 6 割は定年退職後の働き方についての情報を求めている。
7. 定年退職後の看護職対象の面接会参加希望は看護管理者 3 割以下、看護職約 6 割であった。
8. セカンドキャリア活用に関する情報提供のシステムづくりや支援対策が求められている。

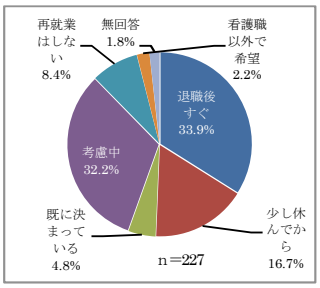


図 7　定年退職後の再就業

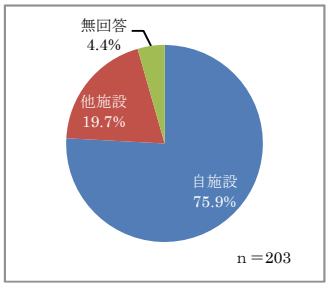


図 8　再就業先施設希望

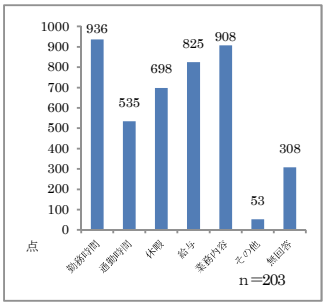


図 9　再就業に重視する条件

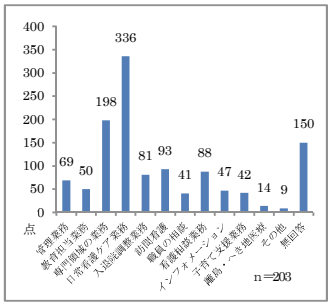


図 10　希望する業務内容

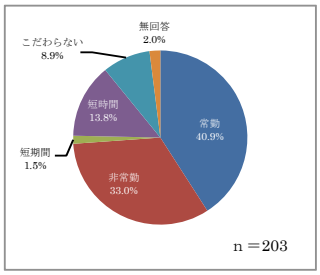


図 11　希望する雇用形態

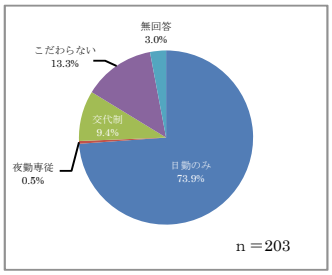


図 12　希望する勤務形態

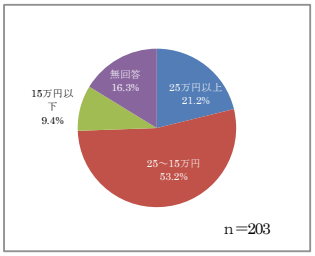


図 13-1　再就業後の給与希望（月給）

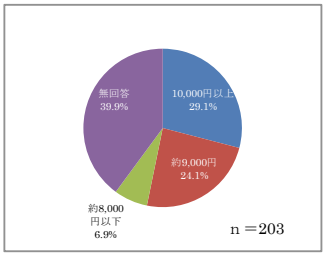


図 13-2　再就業後の給与希望（日給）

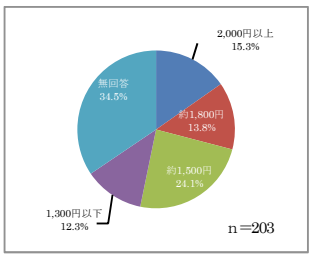


図 13-3　再就業後の給与希望（時給）

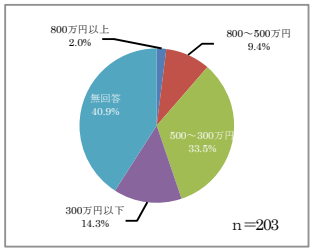


図 13-4　再就業後の給与希望（年棒）

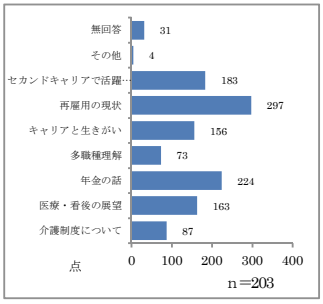


図 14　希望する研修内容

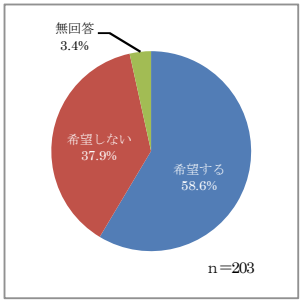


図 15　就業希望別面接会参加希望

地 区 だ よ り

鹿児島地区

看護職の連携強化
～看護の心をみんなの心に～

教育委員会の活動

鹿児島地区教育委員会では、研修受講者のニーズにあった研修を行い、研修で得た知識や技術を看護現場で実践することで、鹿児島地区全体の看護の質を高め、看護実践能力の向上が図れることを目指しています。今後も看護を取り巻く時代的課題に対応できるような研修の企画・運営を行っていきたいと思います。

委員長　和田　順子

医療安全情報ネットワーク委員会の活動

鹿児島地区における医療安全管理者の連携、情報交換を行い、医療安全管理者としての資質の向上をはかる事を目的として活動しております。令和２年度は、Web 会議システムを導入し会議４回と研修会１回を開催します。時間の効率化と情報の共有ができる新しい会議の在り方が構築されています。各施設の医療安全管理者が抱える問題解決への足掛かりとなり、日々の活動に役立つ会議にしたいと思います。　委員長　谷口　里子

地域ケアサービス委員会の活動

地域ケアサービス委員会は、地域に根ざした看護協会活動を目指しています。
毎年、当委員会のメインイベントとして、多数の医療機関や他職種の方々のご協力を頂き『まちの保健室』を開催しています。地域の方々の日頃の健康管理を各種測定や健康相談を通し見直す機会を提供できる場です。今年度は、新型コロナ感染症のために開催することが出来ませんでしたが、ウィズコロナの中で、何かできることはないか考えながら今後も活動をしていきたいと思っております。　委員長　前畑　美智子

出版規約委員会の活動

私達は鹿児島地区の事業内容を看護かごしま及び、ホームページへ掲載し、地区活動の拡大と広報活動を行っています。皆様に閲覧・活用して頂けるようなホームページを作っていきたいと思います。
ぜひご覧ください。　委員長　田畑　裕恵

【ホームページの閲覧方法】

① 鹿児島県看護協会ホームページを検索
② ホームページ内のお知らせの地区活動をクリック
③ 見たい活動内容をクリックしてください

入会希望の方は
こちらから！

鹿児島地区研修会お知らせ

◆看護管理者交流会◆
日時：令和２年 12 月 19 日（土曜日）14：30 ～ 16：00
場所：鹿児島市町村自治会館 403 号
講師：浄土真宗本願寺派 善福寺住職 長倉伯博 先生
～新型コロナ禍で医療現場を支える看護管理者へ「心温まるお話」～
※南日本新聞「すいも あまいも」３７３相談室 連載相談者の方です。
参加費：無料
お申込み：別紙申し込み用紙にご記入後、FAX でお送りください。

◆看看連携「看護者で語ろう！つながろう！新型コロナ感染症対策」◆
日時：令和３年１月 30 日（土曜日）13：30 ～ 16：00
場所：かごしま県民交流センター
内容：医療機関や訪問看護ステーションでの新型コロナ感染症対策など
参加費：無料
お申込み：別紙申し込み用紙にご記入後、FAX でお送りください。

大隅地区

教育委員会活動報告

令和２年度の大隅地区教育委員会は、今年度より教育委員・OST・管理者研修を主催することになりました。また、感染研修を追加し、６回の研修開催を予定しております。

８月 22 日は、救急看護認定看護師を講師に迎え、「災害看護」」を開催し、昨年よりレベルアップした内容で、記憶にも新しい７月の大雨豪雨で、大隅地区でも大きな災害となり、自施設・自宅の災害対策の取り組み・災害支援ナースについて学びを深める研修となりました。

９月 19 日は、鶴田光樹先生を迎え「アンガーマネジメント」と題して、管理者研修会を開催し日頃の緊張した表情から笑顔が見られる研修会となり、怒りのコントロールについて学ぶことができました。

今後は､「感染予防対策」「在宅支援について」「卒後１年目研修」「卒後１年目フォローアップ」の研修を予定しております。今後も大隅地区の看護の質向上に繋げられるように取り組んでいきたいと思います。

委員長　上大薗　知子

大隅地区医療安全ネットワーク会活動報告

令和元年度は，前年度に引き続き前野かつ子先生をお迎えし「事例から学ぶ医療安全対策～多職種で取り組む戦略～」についてご講義頂きました。91 名の参加があり，「安全確保は自己を，組織を守るためにも重要な事，信頼確保のためにはコミュニケーションが大切である事，事故を振り返り，多職種と連携し改善していくことが大切だと学んだ。」等多くの感想がありました。令和２年度は，11 月に益山康秀先生をお迎えし，「医療安全に活かすノンテクニカルスキル」のテーマでご講義頂く予定です。医療安全に関する学びを更に深めていきたいと思います。

活動としては，各施設での取り組み報告，事例についての意見交換や情報交換等を行っています。地域へ向けてネットワーク会への参加声掛けを行い，今年度より参加施設が 13 施設から 14 施設に増えました。更に地域での相互連携を図り，安全対策に努めていきたいと考えています。　　委員長　原　小百合

地域ケアサービス委員会活動報告

大隅地区地域ケアサービス委員会は、大隅地区で行われる様々なイベントへ救護活動や健康相談などの活動をしています。特に毎年県内外から２万人を超える参加がある鹿屋海上自衛隊で開催される『エアメモリアル in かのや』では救護活動に加えて“まちの保健室”としてイベントへ参加された方の健康相談や血圧測定や体脂肪の測定、血管年齢の測定などを行っています。

残念ながら今年は新型コロナウィルス流行の影響で例年行われているイベントに加えて鹿児島国体など参加を予定していたイベントが全て中止となってしまいました。新型コロナウィルスが収束し例年開催されていたイベントが開催される際には、大隅地区みなさんの健康増進に少しでも貢献できるよう活動を続けていきたいと思います。

委員長　桑俣　修一

2020 年度　大隅地区地域ケア活動予定

開催月	イベント名	場所
8 (8/3)	かのや夏祭り 総踊りパレード	イベント広場
8 (8/11)	かのや夏祭り 納涼花火大会	古江港
10 (10/19)	大隅湖レイクサイドフェスティバル	大隅湖
10 (10/27)	鹿屋市秋祭り歩行者天国	リナシティー
11 (11/10)	秋の陣まつり　やっちく松山藩	松山町城山公園
11 (11/23)	ふれあいフェスタ in おおさき	大崎ふれあいの里
2 (2/9)	鹿屋産業フェスティバル	リナシティー

※（　）は前年度の開催日

2021 年度の入会・継続手続きが始まります !!

日本看護協会より「翌年度継続のお知らせ」が
10 月下旬ごろから随時発送されます。

封筒の中に入っている
※ 書類内容をご確認ください

変更が

- ある → 右側の「変更届」に変更箇所をご記入の上、ご提出ください。
- ない → お手続き不要

会員専用ページ キャリナース からも変更できます

看護協会の入会は自動継続です

自動継続を希望しない場合は、鹿児島県看護協会へご連絡ください
【受付期日：2020.12.25（金）】

【会員施設ご担当者さまへ】
①「継続のお知らせ（封書）」を会員の皆さまへ配布してください
②「会員情報」「口座情報」に変更のある方のみのご提出となります
③変更のある方の封筒を取りまとめて、下記へ送付をお願いいたします

「入会申込書/会員情報変更届」をご提出ください
※用紙は鹿児島県看護協会へご請求ください

送付先・連絡先

〒206-8790
日本郵便株式会社　多摩郵便局　私書箱第 21 号
公益社団法人日本看護協会・都道府県看護協会　会員登録事務局　宛

〒890-0064
鹿児島市鴨池新町 21-5
公益社団法人鹿児島県看護協会　会員管理担当　宛
TEL:099-256-8081　FAX0:99-256-8079
✉kakankyo@orange.ocn.ne.jp

訪問看護師募集（非常勤）

鹿児島県看護協会訪問看護ステーションかごしまは、0 歳～ 90 歳代の方々へ訪問看護を実施しています。色々な人生に関わることができるやりがいのある仕事です。一緒に働きませんか？　応募される方は、連絡先へご一報ください。
※採用要件俸給などは当社の規定に準じます。
連絡先　〒 890-0064　鹿児島市鴨池新町 21-5　鹿児島県ナースセンター
電話　099-256-8025　FAX　099-256-8079

ナースセンターだより Vol.134

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための看護職確保にご協力ください！

鹿児島県ナースセンターでは新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、医療提供体制を維持するために看護職の御協力をお願いしております。ナースセンター登録者及び届出制度登録者の方々へ、「復職のお願い」メールを３回にわたりお送りしましたところ、多くのお問合せをいただき、宿泊施設や電話対応等に従事いただいております。

今後も医療機関・福祉施設等では新型コロナウイルス感染症の影響による人材不足が予測されることから、引き続き潜在看護職の皆様へ復職のお願いを続けております。是非、皆様のご協力をお願いいたします。

求人セミナー

「看護人材確保・活用対策セミナー」を開催しました

開催日時：９月 10 日(木)　13：00～16：00　(赤十字会館にて)

【内容】

1）「ジョブ・カードを活用した効果的な採用活動」について
　鹿児島キャリア形成サポートセンター
　ジョブ・カード作成アドバイザー 佐伯保朗

2）「事例からみる働きやすさ確保の為の環境整備」
　県医療勤務環境改善支援センター　労務管理アドバイザー 勝田正志

3）「就業継続を支援する働きやすい職場作り」
　南風病院 看護部長　吉原由美、人事課長 近藤壮記
　済生会川内病院　看護部長 寺脇佐代子

4）「定年退職後のセカンドキャリアに関する調査報告」
　鹿児島県ナースセンター

就職活動において、職場環境を重視する求職者が増えており、採用活動においても従来の労働条件のみではなく、「働きやすい職場としての魅力」を伝えることが必要になっていることから、求人施設向けセミナーを開催しました。

鹿児島市や大隅地区の 13 施設から、看護部長、看護師長、事務長、人事担当課長など 20 名の参加があり、各アドバイザーの講演や、南風病院、済生会川内病院の具体的な取り組み報告に熱心に耳を傾けておられました。

「鹿児島キャリア形成サポートセンター」では、ジョブ・カードを活用した様々なキャリア形成支援、「鹿児島県医療勤務環境改善支援センター」では、勤務環境改善に関する相談・支援等を無料で行っています。　ぜひご活用ください。

＜鹿児島キャリア形成サポートセンター＞
〒892-0842 鹿児島市東千石町 1-38
鹿児島商工会議所ビル 10F　　パソナ・鹿児島内
電話：099-805-9800

＜鹿児島県医療勤務環境改善支援センター＞
〒892-0803　鹿児島市祇園之洲町５番
電話：099-813-7731

職務経歴書記載マニュアル作成しました

求人への応募書類に職務経歴書の提出を求められることが多くなっています。職務経歴書を書くことで自分をよく知り、能力をアピールすることができます。

鹿児島県ナースセンターでは職務経歴書の記載マニュアルを作成し、来所相談の方へご利用いただいております。

看護職の再就業応援セミナー「ナースの再就業応援カフェ」

求職者の就業意欲を高め求職活動の動機づけとするために、求人施設と求職者の交流の場として「ナースの再就業応援カフェ」を７月28日に看護研修会館において開催しました。カフェの参加者は、再就業を希望している看護職が７名と、助言者として病院・訪問看護ステーション・介護老人保健施設からそれぞれ１名、再就業を経験して現在現場で活躍している先輩看護師２名、そして、ナースセンター相談員です。

施設ガイダンスの様子

まず「施設ガイダンス」で３施設の看護の内容とそれぞれの現場の看護の魅力について学びました。そして、先輩看護師からのメッセージでは、体験談として再就業してから現在までの状況や環境の変化、看護に対する思い等お話しいただきました。参加者は体験談を共有することで、今後の自分のキャリアと重ねあわせて、再就業をより身近に感じ、意欲を高めていました。

その後のグループワークでは、それぞれの参加者が感じている不安や思いを語り合い、助言者によるアドバイスも含めて、和やかなフリートークの時間を過ごしました。現在自分を取り巻く環境をまず整えることが大切、看護の仕事に再チャレンジするための小さな勇気と行動力が必要、など様々な意見がありました。

ナースセンターは、これからも求人情報の提供をはじめ、働く場所や勤務時間など一人ひとりに応じた働き方について一緒に考えながら、看護職として就業を希望されている皆さまのキャリアをサポートいたします。

参加者の感想

- 自分らしく働きながら自分らしく生きていけますように！
- ブランク大、経験も浅く不安な事が沢山ある私。１年後の今頃は、ハツラツと働いていたい。
- 再就業に向け準備して、素敵な職場に出会えますように！

先輩看護職の体験談

第２回再就業応援カフェのご案内
令和３年１月26日（火）
13：00～16：00
場所：霧島市国分公民館
（シビックセンター内）
※詳細はナースセンターへ
お問い合わせください。

訪問看護研修(入門コース)　～訪問看護ステーション実習からの大きな学び～

今年度の入門コースは10名(訪問看護未経験者４名，訪問看護経験者６名，平均は５ヶ月)の方が受講中です。『訪問看護を学びたい』,『訪問看護を希望している』等，様々な思いを胸に受講。講義３日間(科目７科目)終えて，９月は実習期間でした！　このコロナ禍の最中，管理者の方々には利用者の方々の承諾を頂くのに苦慮して頂き，訪問看護ステーション８施設にお世話になりました。

～訪問看護の魅力～

実習によって
講義で学んできたこと体感。
貴重な経験に！

聴く力を身につけ「間」を
大切に声掛けして
『安心した』と
言って頂ける様に！

病院の看護より家族への
関わりが密!!
『何が出来るか』考えた
関わりをしていた！

同じ ST でも
地域や環境により違う。様々！
個々に合わせての援助方法を学ぶ。

新人は在宅看護を学んで
いるが，先輩看護師は
在宅を知っている？？？
知る機会を作ることが
大切だ！
これまで**連携をしている**と
思っていたが
理解していなかった！

地域連携の中で病院看護師が
果たすべきことを
外からみる事が出来た！
課題認識する。
今後に活かしていきたい。

『意思決定』は重要である。
生き方に応じた様々な事を
考える事が出来た

看護職の働く職場紹介　No.1

～医療的ケアの必要な児童生徒の教育活動を支える養護学校で働く看護師～

〒891－0175
鹿児島市桜ヶ丘6－12
鹿児島県立桜丘養護学校
TEL 099－265－6642

＜特別支援学校における医療的ケアとは？＞

○ 鹿児島県には，17校の特別支援学校がありますが，その中の13校に「医療的ケア」を必要とする児童生徒が約130人在籍し，約35人の看護師のケアの下，日々の学習や行事に取り組んでいます。（令和２年度現在）

○特別支援学校に在籍する児童生徒の医療的ケアは，医師や看護師等でなければ対応できない行為が多く，登校して教育を受けるためには，看護師の存在は必要不可欠です。
具体的には，経管栄養や胃ろう注入，口腔内及び気管内の吸引，ネブライザーによる吸入や導尿などです。

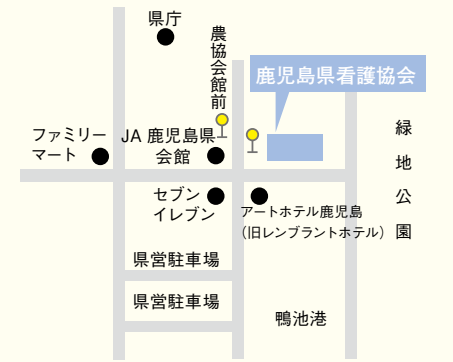
○担任の教師や保護者と連携を図りながら，登下校時や休み時間，給食の時間などに和やかな雰囲気の中でケアが行われています。児童生徒が登校している時のケアになりますので，時間帯は概ね 9：00～15：00 で祝日や土日は休みになります。学校行事等に参加していただくこともありますが，児童生徒が不在となる夏休み・冬休み・春休みはお休みとなりますので子育てをしながら働きやすい職場です。　（文責：桜丘養護学校教頭：肱黒千代子）

鹿児島県立桜丘養護学校の風景

【離職看護師等届出制度「とどけるん」届け出状況】

2015年10月～2020年９月までの届出状況
全国 129,084 名　鹿児島県　2,211 名

2020 年７月の届出（鹿児島県）　12 名
2020 年８月の届出（鹿児島県）　16 名
2020 年９月の届出（鹿児島県）　７名



【e ナースセンター登録有効求人・有効求職状況】

	6 月	7 月	8 月
求人数（人）	742	767	774
求職者数（人）	415	416	412
就業者数（人）	38	32	49

鹿児島県ナースセンター
〔看護師等無料職業紹介所 46-ム-010002〕
相談日：月～金　9:00～12:00　13:00～16:00
住　所：〒890-0024　鹿児島市鴨池新町 21-5
TEL：099-256-8025　FAX：099-256-8079
Eメール：kagoshima@nurse-center.net

理事会報告

令和元年度　第３回　理事会

日時：令和２年７月１８日（土）13:26 ～ 15:40
17 名出席（うちリモート出席６名）

協議事項

1　基本方針に関する事項
　1）令和３年度事業に係る県知事への予算等要望書について
　2）令和２度通常総会における質問・意見への対応について
2　事業推進に関する事項
　1）令和３年度医療介護総合確保基金（医療・介護分）に係る事業提案について
　2）訪問看護供給体制確保推進事業について
　3）地域の医療体制提供確保のための看護職員の派遣調整事業について
　4）日本看護協会のナーシングナウの取組み期間延長に伴う本協会の 2020 年看護の日の取組みについて
3　管理的事項
　1）新型コロナウイルス感染症に関する県看護協会の動き
　2）会館建設準備委員会について
　3）オンライン研修システムについて
　4）令和３年度鹿児島県看護協会通常総会について
4　会員支援
　1）日本公衆衛生協会長表彰候補者の推薦について
5　その他

報告事項

1　事業推進に関する事項
　1）日本看護協会の重点事業等について
　2）教育事業について
　3）看護職就業相談事業について
　4）新型コロナ感染症対策について語ろう看護研修会 (姶良・伊佐地区主催)
　5）新型コロナウイルス感染症の影響に伴う病院実習等の負担軽減のための看護師養成施設等における実習保管事業について
　6）助産師出向支援事業実施計画について
　7）特定行為研修修了者看護師交流会・研修シンポジュウム
　8）４職能委員会、災害看護検討委員会合同会議
　9）鹿児島国体大及び全国障害者スポーツ大会の延期について
　10）倫理委員会の開催について
2　管理的事項
　1）議事録（第１回・第２回）
　2）令和２年度鹿児島県看護協会役員及び委員会委員について
　3）看護協会職員の事務分掌について
3　会員支援関係
　1）令和２年度日本看護協会会長表彰者について
　2）令和２度鹿児島県看護協会会員数

その他

第４回　理　事　会

日時：令和２年９月１９日（土）13:30 ～ 15:45
17 名出席（うちリモート出席４名）

協議事項

1　基本方針に関する事項
2　事業推進に関する事項
　1）地域の医療提供体制確保のための看護職員の派遣調整事業について
　2）新型コロナウイルス感染症の影響に伴う病院実習等の負担軽減のための看護師養成施設等における実習補完事業について
3　管理的事項
　1）九州地区法人会及び連絡会の協議事項について
　2）看護研修会館建設準備委員会について
　3）看護協会の収支について
　4）訪問看護ステーションかごしまの職員雇用について
　5）医療・看護安全委員会委員の交代について
　6）IT 導入補助金の経過報告
4　会員支援
　1）令和３年度改選役員・推薦委員並びに令和４年度代議員及び予備代議員の公募について
　2）厚生労働省表彰（公衆衛生事業功労者）について

報告事項

1　事業推進に関する事項
　1）　令和３年度予算に係る知事への要望書提出について
2　事業推進に関する事項
　1）教育事業について
　2）看護職員就業相談事業について
　3）訪問看護供給体制確保推進事業 (訪問看護人材確保対策検討委員会）について
　4）特定行為シンポジュウム について
　5）施設代表者会議について
　6）2020 年度災害支援ナース派遣調整合同訓練
　7）４職能委員会及び災害看護検討委員会合同会議結果について
3　管理的事項
　1）台風第１０号の対応等について
　2）日本看護協会から防護具等寄付の配布について
　3）理事会議事録について
4　会員支援関係
　1）令和２年度鹿児島県看護協会会員数及び会員専用ページ閲覧状況

その他

※毎回、日本看護協会理事会報告、地区長情報交換会報告を口頭で、職能委員会報告、地区報告、委員会報告他団体会議報告、県外出張報告を書面で行っています。

※ハーモニーランド冬季無料ご招待の中止につきまして

毎年、夏期及び冬期に会員特典として、ハーモニーランド無料ご招待を企画しておりましたが、今回は新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの発生を考え、中止とさせていただくこととなりましたのでご了承ください。

※看護協会の看護管理者メーリングリスト登録のご案内

管理者向け情報共有の方法の一つにメーリングリストを活用しています。（コロナ対策、協力依頼の呼びかけ、管理者向け最新情報の提供等）まだ、登録していない方は、是非登録して下さい。
e-mail:kakankyo@orange.ocn.ne.jp

編集後記

いつもと違う実りの秋となりました。鹿児島のおいしいものをたくさん食べて、これからの季節を乗り越えていきましょう。

広報委員一同

写真提供、ご意見、ご感想、または企画に対するご要望などお待ちしています。抽選で本県協会員の方５名様にクオカード1,000円分差し上げます。

広報委員会キャラクター
「ニャン護師」

看護専門職として社会に貢献しよう　会員の増加と福祉の向上のため活動しよう

公益社団法人
鹿児島県看護協会
Kagoshima Nursing Association
鹿児島市鴨池新町21-5
TEL.099-256-8081　FAX.099-256-8079
URL　http://k-kango.jp
E-mail　kakankyo@orange.ocn.ne.jp